

# 令和6年度茨城大学教育学部附属中学校グランドデザイン



## 学校教育目標

### 自主・自律・協調

#### めざす学校像

- ・10年先の学びを見据えた先進的な教育を行う学校
- ・教育ニーズに対応した学習環境の整った学校
- ・将来の教育を支える優れた教員の養成を担う学校
- ・教員の資質・能力の向上が図れる学校

#### めざす生徒像

- より高い価値をめざし
- たくましく実践し
- ともに向上する生徒

#### めざす教師像

- 教職に対する
- 高い使命感をもち
- 信頼される力量ある教師

#### 重点目標

- 1 これからの社会を創る、考え学び続ける生徒を育成する。
- 2 茨城県内外の教育機関に対して広く研究成果を発信するとともに、地域の教育力向上に寄与する。
- 3 教育実習や授業研究等、教員養成に必要な実地教育を行い、将来の教育を担う人材を育てる。

イバダイ・ビジョン  
2030

- Green** カーボンニュートラルを含む環境問題への取組
- Digital** Society5.0時代への対応
- Global** 言語、伝統、文化の理解、他者との協調
- Diversity** 多様な人々との共存・協働

#### 教育における具体的な取組

##### 学びの価値を実感する授業の実践

- ・先進的な学校研究の充実と授業改善
- ・試行錯誤、アウトプット、振り返りを重視した授業構成
- ・生徒の思考を深めるICT教育の充実
- ・地域の教育力向上に貢献する公開授業研究会の開催
- ・茨城大学との共同研究及び連携の推進
- ・生徒の学習を支援する研究機関、行政機関との連携推進

##### 自己管理能力や、自ら解決する力を育てる教育の工夫

- ・各種大会やコンクールへの参加
- ・情報モラル教育の推進
- ・British Hills英語宿泊研修における異文化理解、体験型レッスンによる英語宿泊研修の実施

##### 道徳性を高める心の教育の推進

- ・自分事として考え、議論する「特別の教科道徳」の授業実践
- ・茨大大学院生による「心のサポートセンター」やスクールカウンセラーなど相談・支援体制の充実
- ・よりよい人間関係を築く「グループワーク」の計画的な実施
- ・生活アンケート、きずなアンケートを活用した一人一人に寄り添った教育相談と、発達支持的生徒指導

##### 学びの価値を見いだす「グローバル市民科」の改善・充実

- ・地球的規模で、思慮深く考える・生徒の主体的な探究を目指す選択講座制の導入
- ・附属中スクールボランティア制度によるゲストティーチャーの活用
- ・研究成果のアウトプットの場の工夫

##### 生徒が創り上げる学校行事

- ・宿泊共同学習における登山等の、自然体験活動の充実（安全を確保しながら心に残る取組）
- ・いばら祭、音楽コンクールへの生徒の主体的な取組の充実
- ・附中スポーツフェスティバルへの取組

##### 「自主の名門」を意識した自律的活動

- ・生徒会、学年生徒会、学級運営委員会、常任委員会など生徒の自治的参画による活動の推進
- ・「自主の時間」の効果的な活用

#### 令和6年度研究主題 学びの価値を実感する生徒の育成(3年次)

- ・茨城大学教育学部との共同研究
- ・公開授業研究会の開催
- ・研究成果の発信（研究紀要）

#### 学校経営における具体的な取り組み

##### 教職員の豊かな学びの推進と学校力の向上

- ・校外研修の推進
- ・部活動の外部人材の活用
- ・変形労働時間制の実施
- ・コンプライアンス研修の実施
- ・危機意識能力の向上

##### 開かれた学校づくり

- ・附属中スクールボランティア制度を活用した地域人材の活用
- ・茨城大学、他附属学校との連携
- ・県教委等、関係機関との連携
- ・学校ホームページ、各種便りによる情報発信

##### 学校評価の活用

- ・学校評議員会
- ・学校関係者評価委員会
- ・学校評価アンケート